

「TOHOシネマズ ららぽーと門真」 4月17日(月)グランドオープン TOHOシネマズ初となるドルビーシネマの導入決定

TOHOシネマズ株式会社は、三井不動産株式会社が大阪府門真市松生町で推進する2業態複合型商業施設「三井ショッピングパーク ららぽーと門真」(以下「ららぽーと門真」)、「三井アウトレットパーク 大阪門真」(以下「MOP 大阪門真」)内に9スクリーン、1,430席のシネマコンプレックス「TOHOシネマズ ららぽーと門真」を2023年4月17日(月)に開業することを決定しました。

TOHOシネマズ ららぽーと門真では、既存施設においてお客様より好評を得ている“プレミアムシアター”と“轟音シアター”に、当社初の試みとなる“ドルビーシネマ”を加えた3種の特徴的なシアターを導入します。また、複数シアターに2種の高品質な特別席を設置します。通常の一般席よりも広い座席スペースを確保した特別席は、隣席のことを気にすることなく、映画への没入感をより高めることを約束します。

様々な特徴的な鑑賞環境を整え、お客様には映像コンテンツの新しい楽しみ方の提案を行う一方で、一般的なシアターにおいても品質向上に取り組み、全てのシアターでの鑑賞環境の向上を目指しています。



© 2023 青山剛昌/名探偵コナン製作委員会

TOHOシネマズ ららぽーと門真の開業を記念して作成された開業告知ポスターは、大ヒットシリーズの最新作、劇場版『名探偵コナン 黒鉄の魚影(サブマリン)』(4/14(金)公開)とコラボ。

TOHOシネマズ初導入となる「Dolby Cinema®」は、最先端の映像技術により、広色域で鮮やかな色彩と幅広いコントラストを実現できる為、本物の“黒”を再現することができることとされており、劇場版『名探偵コナン』の最新作が宿敵“黒ずくめの組織”との対決を描いていることにちなんで、“黒”をフックにしたコラボレーションが実現しました。

TOHOシネマズ初導入 『Dolby Cinema®（ドルビーシネマ）』

TOHOシネマズ ららぽーと門真では、TOHOシネマズでは初となる“ドルビーシネマ”を導入します。ドルビーシネマは、一瞬一瞬を表現する色鮮やかでリアルな映像を創り出す“ドルビービジョン”と、息をのむほどリアルなサウンドが周りを流れる“ドルビーアトモス”に、卓越したシアターデザインを組み合わせることにより、映画館を最高に魅力的なシネマ体験をお届けする空間へと変えることができます。



ドルビーシネマの3大要素

- **ドラマチックな映像 Dolby Vision®（ドルビービジョン）**

最先端の光学・映像処理技術を採用したドルビービジョンは、他の映像技術を凌駕するほどの高輝度・高コントラストな映像を実現する最新鋭のハイダイナミックレンジ(HDR)映像技術です。驚異的な輝度、深い暗部の表現、ビビッドな色彩が壮大なインパクトをもってあらゆる瞬間を余すことなく映し出します。

- **心揺さぶるオーディオ Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）**

立体音響技術であるドルビーアトモスは、天井や壁面に配した多数のスピーカーにより、これまでにないリアルなサウンドでシアター内を満たし、音を縦横無尽に移動させることで、まるで映画の中に入り込んだような臨場感を味わうことを可能にします。

- **究極のシアターデザイン**

映画を観るために考え抜かれたシアターデザイン(インテリアカラー、空間デザイン、座席アレンジメント)によって、最高の環境の中で作品に没入することができます。シアターのエントランスには横長のスクリーンが設置され、これから始まる映画鑑賞への期待感を高めます。



※シアターイメージ



※シアターエントランスイメージ

※ Dolby、ドルビー、Dolby Cinema、Dolby Atmos、Dolby Vision、およびダブル D 記号は、アメリカ合衆国とまたはその他の国におけるドルビーラボラトリーの商標または登録商標です。

没入感を高める特別席「ワイド コンフォート シート」

TOHOシネマズ ららぽーと門真では、新しく開発した“ワイド コンフォート シート”を SCREEN2、SCREEN3、SCREEN7、SCREEN9 の一部に導入します。

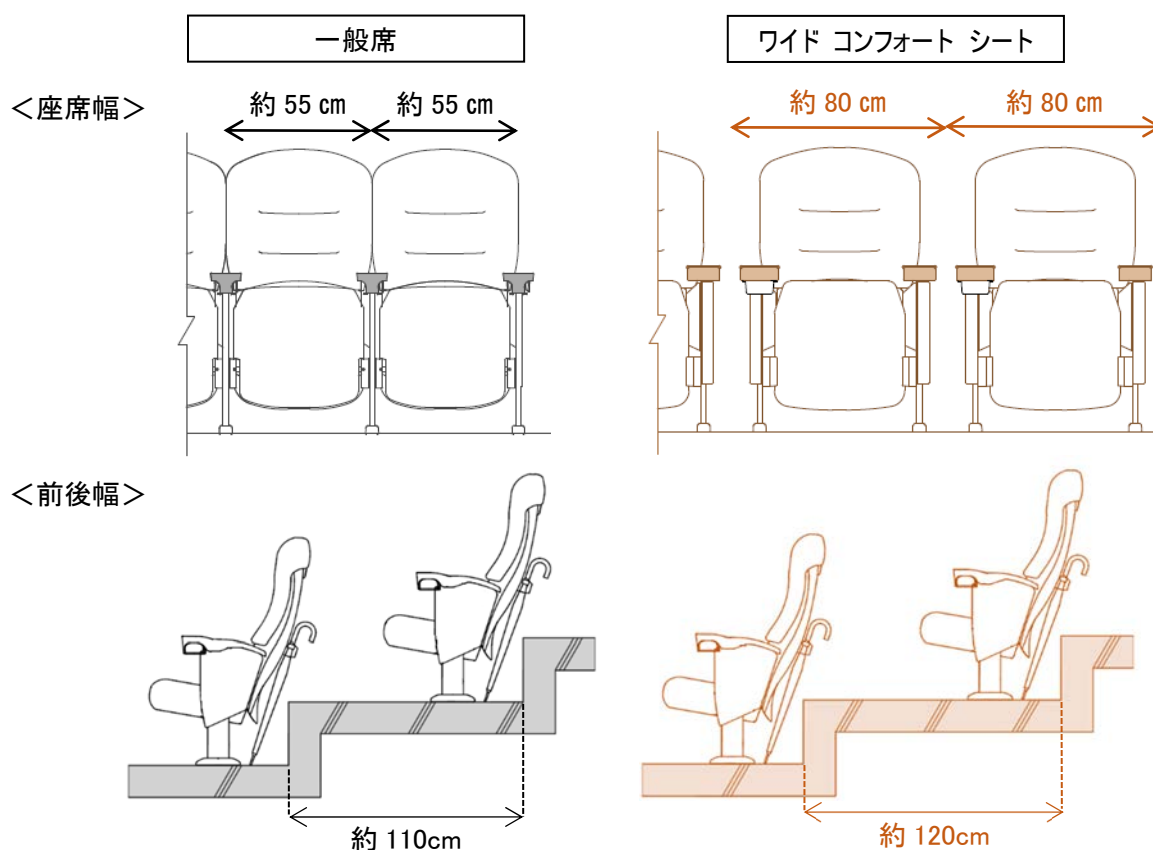
上品な色合いの革張りシートは、シンプルでありながらも高級感に溢れ、座り心地の良さはもちろんのこと、当社通常の一般席と比較し、横幅で約 1.5 倍のゆったりとした座席スペースを確保しました。プライベート感を増した特別な座席は、映画への没入感を高めます。



※イメージ

● 座席スペースについて

ワイド コンフォート シートは、通常の一般席より横幅で約 25 cm、前後幅で約 10 cm 広い座席スペースの確保を実現しました。



● プレミア シート

ワイド コンフォート シートのさらに上に行く重厚かつラグジュアリーな座席を SCREEN6(ドルビーシネマ)と SCREEN7(プレミアムシアター)にそれぞれのシアター環境に合わせたデザインで導入します。

SCREEN6
(ドルビーシネマ)



SCREEN7
(プレミアムシアター)



“最高の映画体験”を追求した「プレミアムシアター」

映画館にとって「映像」「音響」「座席」は重要な要素であり、これらの本質を追求し、こだわり抜いたのが、TOHOシネマズのハイエンドシアターである“プレミアムシアター”です。



※イメージ

● ラージスクリーン “TCX®”



PREMIUM LARGE FORMAT

TOHOシネマズ独自規格のラージスクリーン「TCX®」を採用。

壁面一杯(Wall-to-Wall)に張られた、高品質・大規模スクリーンを設置し、迫力ある映像に没入できる鑑賞環境を提供します。

● プレミアムサウンド



PREMIUM SOUND

シアター形状に最適化した形でスピーカーをカスタマイズすることで、広帯域で高精細な出力を可能にし、映画作品ごとの忠実な音の再生を実現。アーティストであり、音のエンジニアとしても実績のある『LOVE PSYCHEDELICO(ラブ・サイケデリコ)』のNAOKI氏が音響調整を監修し、これまでにないリアルなサウンドを実現します。

● プレミアムシート



PREMIUM SEAT

プライベート空間が確保された広々とした座席は、ラグジュアリーな非日常を演出し、映画への没入感をより高めます。

空気を震わせるサウンド体験「轟音シアター」

「音の体感・迫力あるサウンド」を意識したシアターです。轟音シアターのサウンドシステムは、高精細な再生が可能な“大型 3Way メインシステム”、スピーカーユニットを向かい合わせで駆動させることで通常の 1.5 倍～2 倍のパワーを発揮する“アイソバリックサブウーハーシステム”、そしてメインシステムに劣ることなく広帯域で高精細な再生が可能な“3Way サラウンドシステム”から構成されます。シアター内では特徴的な形状のサブウーハーをスクリーン前に設置し、轟音ながら繊細な音響を体感することができます。



・ステージスピーカー(大型 3Way メインシステム)

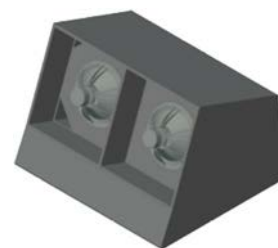
歪のない伸びやかな高域、驚くほどリアルな中域、そしてパワーをロスすることなく正確な低域再生を実現します。



・サラウンドスピーカー

(3Way サラウンドシステム)

2Way 同軸ドライバーに 2 つのコーン型ウーハーを配置した広帯域型 3Way システムです。特徴的なキャビネットのフォルムとドライバーの配置は、理想的な音の広がりや立体感を得るために厳密に計算された結果であり、最も効果的にエフェクト音が客席を包むように考えられています。






・アイソバリックサブウーハー

力感に溢れ、より正確に低域を再生するアイソバリック方式を採用したサブウーハーは、映画の醍醐味とも言える効果音や音楽を高揚させるキックドラムやベース音のエネルギーをロスすることなく再生します。

施設概要

9 スクリーン、1,430 席

	一般席	ワイド コンフォート シート	プレミア シート	総座席数 (内)車椅子席
SCREEN 1	79 席			81 席 (2 席)
SCREEN 2	152 席	39 席		193 席 (2 席)
SCREEN 3	155 席	36 席		193 席 (2 席)
SCREEN 4	119 席			121 席 (2 席)
SCREEN 5	85 席			87 席 (2 席)
SCREEN 6 	219 席		13 席	234 席 (2 席)
SCREEN 7 	243 席	26 席	12 席	283 席 (2 席)
SCREEN 8	85 席			87 席 (2 席)
SCREEN 9 	140 席	9 席		151 席 (2 席)

● 関西初導入

<ドリンクステーション>

定額でお好きなドリンクがおかわり自由になる「ドリンクステーション」を関西で初めて導入します。



※イメージ

<モバイルチケット>

インターネットチケット販売“vit®”で購入したチケット(2次元コード)で入場できるサービスです。チケット発券の手間が省け、スムーズな入場が可能になります。



※イメージ

● 所在地

大阪府門真市松生町 1 番 11 号

新型コロナウイルス感染予防措置について

TOHOシネマズでは営業に際し、お客様と従業員の安全を確保するため、感染予防に向けた取り組みを徹底し、安心して映画をお楽しみいただける環境づくりに努めてまいります。